

2006年1月4日

2006年 社長年頭挨拶

明治安田生命保険相互会社（社長 松尾 憲治）では、年頭挨拶として、社長から全役職員に向け、メッセージをおくりました。社長メッセージのあらまきは以下のとおりです。

「信頼回復」に全力投球。「お客さまを大切にする会社」「お客さまに安心をお届けする会社」「社会に開かれた会社」をめざし、共に頑張りましょう。

信頼回復に向けて

- ・ 12月に新体制が発足してから、お客さまや営業職員・職員の皆さまからご意見・ご提案をいただくことが大変多くなっています。お客さまからは「不転換の決意で経営にあたってほしい」、「契約者のことを第一に考えた経営をしてほしい」等のご意見・ご指摘を頂戴しています。また、営業職員や職員からは、会社の方針、組織のあり方、現地と本社の関係、商品、業務運営のあり方など、多岐にわたって数多くの意見を受けています。
- ・ このような皆さまの声からは会社を良くしてほしい、良くしたいという期待や願いを強く感じます。われわれはこれを真摯に受け止め、「信頼回復」に全力投球しなければならないと考えます。「信頼回復」これが今年の最大の課題です。
- ・ 再生に向け、生命保険会社の原点に立ち返り、「お客さまを大切にする会社」「お客さまに安心をお届けする会社」「社会に開かれた会社」を基本方針に掲げ、「明治安田再生プログラム」をスタートさせます。本年は、信頼回復に向け、全役職員が全身全霊をかけてこのプログラムの推進に取り組んでいきましょう。

中長期的経営課題への取組み

- ・ 昨年、わが国の人口が減少に転じ、人口減少社会が到来しました。人口構造の変化はマクロ経済だけでなく、各産業や企業にも大きな影響を与えます。生産年齢人口は、1995年をピークに既に減少が始まっていますが、この人口構造の変化をどのように捉え、対応していくかは長期的に大変重要なテーマです。
- ・ また、付加保険料の設定がこれまで以上に弾力化されることとなり、今後は、価格戦略の重要性が増すとともに、経営の効率化がますます厳しく求められる時代となります。
- ・ 全力で信頼回復を進めつつ、人口構造の変化、価格戦略等中長期的な課題にも対応していかなければなりません。共に頑張りましょう。